

経営情報学部 システム情報学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 育成すべき人材像とコンピテンシー

情報化社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚をもった人材を育成するとともに、情報化社会で求められているあらゆる分野において利用されるシステムの開発にかかわるソフトウェア技術者、および情報技術に関する知識とスキルを応用して問題解決を図り、社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

① 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力

- ・学ぶ意義を理解できる人材。
- ・グループで議論や活動ができる人材。

② IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識

- ・ネットワーク、セキュリティ、データベース、システム開発技術などに関する知識や技術を有し、企業、インターネット、スマートフォン向けなどの情報システムの開発に従事できる人材。
- ・人工知能、機械学習、データ解析などの知識を有し新しいビジネスを提案できる人材。
- ・宇宙開発や宇宙情報利用およびそこで必要な高品質、高信頼性ソフトウェアの開発に関する基礎的な知識や技術を有し、社会の様々な分野で必要とする高信頼性ソフトウェア・システムの開発に従事できる人材。
- ・情報技術を利活用して社会の各分野で貢献できる人材。
- ・情報や数学において教員として従事できる人材。

③ 国際感覚やモラルなど豊かな人間性

- ・異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人材。

④ コミュニケーションとプレゼンテーション能力

- ・市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人材。
- ・自分の考えや提案内容をわかりやすく説明できる人材。

⑤ 自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力

- ・情報技術を利活用し、専門知識（システムエンジニア、情報科学、宇宙情報に関する知識）を生かして、課題を発見し解決できる人材。

⑥ 知識のみではなく生きるための知恵

- ・物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考力を備えた人材。
- ・情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材。

育成すべき人材像とコンピテンシーを別表1、及び別表2に示します。

2. 卒業要件（以下の①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること）

| | 履修科目 | 修得単位数 |
|---|--------|--|
| ① | 基礎教育科目 | 次の要件を満たし、計 22 単位以上を修得 教養基礎科目について ・必修科目 8 単位を修得 ・「基礎数学 A」又は「基礎数学 B」のいずれか 2 単位を修得 外国語科目について ・必修科目 6 単位を修得 ・選択科目 6 単位以上を修得 ただし ・英語の選択科目 4 単位以上を修得 |
| ② | 人間教育科目 | 次の要件を満たし、計 24 単位以上を修得 ・必修科目 9 単位を修得 ・選択科目 15 単位以上を修得 ただし ・「人間」「社会」「自然」の 3 分野からそれぞれ 1 科目以上修得 |
| ③ | 専門教育科目 | 次の要件を満たし、計 78 単位以上を修得 ・必修科目 36 単位を修得 ・選択科目は、以下の要件を含み計 42 単位以上を修得 ・『経営系基礎科目』の 5 科目から 4 単位以上を修得 ・『情報系専門科目』から 24 単位以上を修得 |

3. 学位授与の方針

所定の単位を修得したこと、すなわち、定められたコンピテンシーを身に付け、育成すべき人材になっていると認めた学生に「学士（経営情報学）」を授与します。

別表1 システム情報学科 人材像とコンピテンシー(共通教育)

| | |
|----------|--|
| 学科名 | 共通教育科目 |
| ①人材像 | |
| (a) | 物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考力を備えた人材 |
| (b) | 情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材 |
| (c) | 異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人材 |
| (d) | 市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人材 |
| ②コンピテンシー | |
| A | 学問の方法と論理的思考力を身に付け、問題解決に生かすことができる。 |
| B | 得られた情報を批判的に分析し、自己の考えを構築・表現することができる。 |
| C | 人類の歴史や文化の多様性を認め、その担い手としての自覚をもつことができる。 |
| D | 様々な意見をもつ人々とのコミュニケーションの重要性を自覚し、社会活動への展望をもつことができる。 |

別表2 システム情報学科 人材像とコンピテンシー(専門教育)

| | |
|----------|---|
| 学科名 | システム情報学科 システムエンジニアコース |
| ①人材像 | |
| (a) | ネットワーク、セキュリティ、データベース、システム開発技術などに関する知識や技術を有し、企業、インターネット、スマートフォン向けなどの情報システムの開発に従事できる人 |
| ②コンピテンシー | |
| C1 | コンピュータサイエンス、ソフトウェア工学、ネットワーク、セキュリティ、データベースに関する基礎知識を体系的に説明できる。 |
| C2 | ソフトウェア開発技術を使った情報システム開発の一端を担うことができる。 |

| | |
|----------|--|
| 学科名 | システム情報学科 情報科学コース |
| ①人材像 | |
| (a) | 人工知能、機械学習、データ解析などの知識を有し新しいビジネスを提案できる人材。 |
| ②コンピテンシー | |
| C1 | コンピュータサイエンス、ソフトウェア工学、ネットワーク、セキュリティ、データベースに関する基礎知識を体系的に説明できる。 |
| C3 | コンピュータサイエンスに関する基礎知識を使って、ビッグデータなどを分析し、適切な解決案を提案できる。 |
| C4 | 経営分野の知識やICT(情報通信技術)を使って、様々な課題に対する問題解決案を提案できる。 |

| | |
|----------|---|
| 学科名 | システム情報学科 宇宙情報システムコース |
| ①人材像 | |
| (a) | 宇宙開発や宇宙情報利用およびそこで必要な高品質、高信頼性ソフトウェアの開発に関する基礎的な知識や技術を有し、社会の様々な分野で必要とする高信頼性ソフトウェア・システムの開発に従事できる人材。 |
| ②コンピテンシー | |
| C1 | コンピュータサイエンス、ソフトウェア工学、ネットワーク、セキュリティ、データベースに関する基礎知識を体系的に説明できる。 |
| C2 | ソフトウェア開発技術を使った情報システム開発の一端を担うことができる。 |
| C5 | 宇宙科学の基礎的な知識について簡単に説明できる。 |
| C6 | 高品質・高信頼性ソフトウェア開発に関する基礎知識を体系的に説明できる。 |

| | |
|----------|---|
| 学科名 | システム情報学科 共通 |
| ①人材像 | |
| (a) | 学ぶ意義を理解できる人材。 |
| (b) | 情報技術を利活用し、専門知識(システムエンジニア、情報科学、宇宙情報に関する知識)を生かして、課題を発見し解決できる人材。 |
| (c) | 自分の考えや提案内容をわかりやすく説明できる人材。 |
| (d) | グループで議論や活動ができる人材。 |
| ②コンピテンシー | |
| C10 | 対象領域に関する基礎的な知識について簡単に説明できる |
| C11 | システム情報学科で学ぶ意義を自分なりに説明できる。 |
| C12 | 自分で課題を発見することができる。 |
| C13 | 与えられた課題に対し、問題点を見極め、解決に必要な知識や技術を修得し、課題の対処策や解決策を実行できる。 |
| C14 | 与えられた課題について、調査、考察し、論理的にかつ分かりやすく説明し、また、文書化することができる。 |
| C15 | 自分で調査・考察したことや対処策や解決策について、議論することができる。 |
| C16 | 自己表現と協調性をバランスよく発揮できる。 |

| | |
|----------|-----------------------------|
| 学科名 | システム情報学科 教職 |
| ①人材像 | |
| (a) | 情報や数学において教員として従事できる人材。 |
| ②コンピテンシー | |
| C21 | 教職(情報)に必要な専門知識について簡単に説明できる。 |
| C22 | 教職(数学)に必要な専門知識について簡単に説明できる。 |